

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

公表：令和 6年 3月11日

事業所名 くらすびつつkids 職員数 5 回収数 5 割合 100 %

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		・利用者数が多い時には子ども同士や玩具との接触等の危険性が高まるため、危険回避には特に注意を払っている ・遊び・勉強を分けてしやすい環境にしている ・午前と午後に分かれているため十分なスペースが確保されている
	2	職員の配置数は適切であるか	5		・必置の保育士を配置し、言語聴覚士や公認心理士が配置できるよう努めている ・担当があり目を配りやすい ・2部制のため児童が少人数で十分に関われている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	・それぞれの鍵があり子どもの手にと届かないよう配慮されており安全である ・あえて最低限の構造化しかしていない ・いろんな場面を想定して子どもが対応できる力をつけられるようにしている ・構造化に努めている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・支援時間が終わるごとに消毒やふき取りが出来る ・子どもの活動に合わせて空間作りが出来るよう配慮している。また毎日、消毒、清掃を行い感染予防に努めている ・毎日掃除をしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		・毎日のミーティングの中で情報共有や振り返り、今後の対応等話し合っている ・目標や改善点など職員間で話し合っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・今年度より始める予定 ・毎回保護者と話し合う時間を設けているので意見等も言いやすい環境に出来ていると思う
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	・自己評価を行い、自己評価結果・保護者からの評価結果等は公開している ・今年度からやる予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	・第三者委員は作っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・職場内研修会を実施し職員の資質向上に努めている ・ABAについての理解を深める研修や事例検討等それぞれの子供にスポットを当てている ・事例検討会を行ったり毎月研修を導入している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・アセスメントの内容を踏まえ、子どもと保護者の要望を生かした支援計画を作成している ・家庭での様子を詳しくお聞きしニーズに沿っている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		標準化されたアセスメントシートを参考にしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		ガイドラインの趣旨にない、具体的な支援内容を設定している ・ひとりひとりの子どもに合った「ねらい」をつくりそれをもとに支援するようにしている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・計画を全職員で共有できるよう工夫し計画に沿った支援に繋げている ・支援計画の目標に応じてスモールステップで成功体験を積んでいけるような支援を心掛けている ・支援のたびに職員間で一人一人の狙いについて話し合いを行っている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・他職種間で情報共有を行い、個々の発達支援に応じた活動プログラムの立案を行っている ・その日の子どもに合わせた活動を職員間で話し合い決めるようにしている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・活動プログラムが固定化しないよう、季節にあわせた行事や遊び(手遊び・歌等)を取り入れている ・音楽・運動・ゲーム等その子に合った内容を週によって変え決めを行っている ・1日1日の活動プログラムの予定を決めている
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		・他職種間で連携し、集団活動と個別活動を組み合わせる計画を作成している ・個別の時間と集団の時間を毎回必ず作っている、集団の中でも一人一人のねらいに合わせて支援を行っている	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・午前と午後でその都度ミーティングを行い、プログラムや支援の内容と留意点などを話しあい、確認している ・一人一人に合ったねらいやデータシートを基に時間を取って話し合っている ・十分に行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が支援ごとに話し合いを行い、振り返りや気づいた点等を振り返りや気づいた点等を共有するようにしている。同時に個々の記録にもその日の支援の様子等を記入している ・自分が行った支援方法やその時の状況がどうすべきだったのか等の振り返りができている ・常勤の中では密に行われている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録を丁寧にとることによって個々の発達に応じて支援の検討や改善につなげられている ・各ねらいに応じてと聞き事項を書き、次回に生かせるようにしている ・独自の記録表を開いてパーセンテージでデータを細かく残している
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを実施し結果を十分に検証したうえで支援内容の見直しや継続を実施している ・保護者と時間を合わせモニタリングを行っている ・モニタリングはもちろんのこと、日々保護者との話し合いの時間を設けたり月に1回相談の時間を取るようにしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者や事業所代表も含め全職員で参画するようにしている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所・保育所や認定こども園等の関係機関と連携し、支援を行っている ・保護者のニーズに応じて利用している機関と連携している ・他事業所や利用児の通っている園との連絡調整、情報共有を行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の支援を行う場合は必要に応じて医療機関や保健所、他の事業所と連携して支援する予定 ・現在は医療ケア児はいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の支援を行う場合は主治医からの意見書に基づき支援している。また必要に応じて保護者の同意の元、医療機関の地域連携室との連携を取り対応している ・現在いない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・文書及び口頭による引継ぎを行っている ・電話等で情報共有を行っている ・支援学校との連携は現在進行中
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・文書及び口頭による引継ぎを行っている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関と連携し研修や支援を受けるよう計画、予定している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の状況に留意しつつ、隣接する幼稚園との交流の機会を確保していくよう努めている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、子育て会議等に参加できるよう対応している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・支援事のフィードバックや相談日を通じて子どもの様子を保護者に伝えている。また家庭等での様子を保護者からも伝えてもらうようにしている ・送迎時にフィードバックする時間を取っている ・十分に行っている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会等を実施出来るよう計画予定し支援していく ・行事の際時間を設け、保護者に研修を行う予定(3月) 	
保護	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時には需要事項説明書によりサービス利用全般について説明を行い、文書をお渡ししている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画書を作成し保護者に説明の上、同意のサインをいただくようにしている ・一緒に書面を見て頂き説明を行っている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談を時間を取っている、こちらから積極的に聞くようにしている ・十分に行っている

者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	・保護者同士の連携を支援していくよう、保護者の勉強会や懇談会等の実施に努めている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		利用者からの相談には速やかに対応するよう努めている。また事業所内にはご意見箱を設置し意見の徴取に努めている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		・行事のお知らせや緊急時の連絡等は書面やSNSでお伝えできるよう対応している。またボードを活用し掲示での発信もしている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・守秘義務の徹底や外部への情報提供は保護者の要請または同委に基づく。保管時は鍵付きのロッカーへ保管している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		・子どもに対しては写真カード等の視覚支援を活用できるよう配慮している、保護者に対しては日々のフィードバック等で情報伝達を行っている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	・現在は実施できていないが今後地域の方々と交流していくことが出来るよう努めていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		・各マニュアルを作成し、職員間での共有を図っている。危険状況の把握や対応策についても情報共有を行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・基本的に毎月1回避難訓練を実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5		・事前に健康情報や服薬情報について確認している。必要に応じて保護者の同意のもと、主治医へ指示書を依頼したり連携が取れるようにしている ・書類を作成し書いてもらうようにしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	・今年度該当者なし ・食事を提供していない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・全職員で共有しヒヤリハットに対応していけるよう留意している。 ヒヤリハット発生時は直ちに上司に報告し報告書を作成している。その都度書き、話し合い、回覧している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		・全職員が研修に参加できるよう研修の機会の確保に努めている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		・事前に子どもや保護者に丁寧に説明し、了解を得たうえで支援計画に記載している

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。